おやばと

発　行　所
公益社団法人自衛隊家族会
〒162-0845
東京都新宿区
市谷本村町5-1
（TEL）03-5227-2468
（FAX）03-5227-2473
購読料１カ月一部110円
ウェブサイト
http://www.jkazokukai.or.jp/
メールアドレス
jkazokukai@jkazokukai.or.jp

主な記事

◇令和6年版防衛白書を公表　1面
◇回想「能登半島地震災害派遣」　2面
◇論壇「中国の対台侵攻には事前抑止こそが重要」　3面
◇特集「祝　自衛隊創設70周年」　8面
シリーズ企画
家族会長等奮戦記　❶面
自衛隊を動かすMC（第3回）、美佐の新国防論、きずな　❷面
米国事情（第53回）　❸面
歌壇・俳壇、健康の扉　❻面
シニアの鉄人「変わる高齢者像と新たな生活の楽しみ」　❼面

防衛力・抑止力の順調な強化を強調

令和6年版防衛白書を公表

防衛省は7月12日、令和6年版防衛白書を閣議で報告し、公表しました。木原稔防衛大臣は、巻頭において「わが国を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しく複雑なものとなっている」「令和6年版防衛白書は、わが国を取り巻く安全保障環境や防衛省・自衛隊の取り組みを記述しており、特に防衛力の抜本的強化の進捗、すなわち、わが国の防衛力・抑止力が順調に強化されている様子について、丁寧に説明するよう努めた」と述べています。同日、防衛省は特定秘密の不適切運用やパワハラなどの不祥事に関し、海上自衛隊トップの酒井良海上幕僚長と事務方トップの増田和夫事務次官ら218人（延べ220人）の懲戒処分を公表しました。酒井幕僚長は7月19日付で退職し、後任の海上幕僚長には齋藤聡海将が着任しました。

防衛庁開庁記念式典において初代防衛庁長官の木村篤太郎氏に自衛隊員が敬礼をしている様子（令和6年版防衛白書より）

戦後最も厳しく複雑な安全保障環境

防衛白書では普遍的価値やそれに基づく政治・経済体制を共有しない国家が勢力を拡大し、「力による一方的な現状変更やその試みは、既存の国際秩序に対する深刻な挑戦」「国際社会は戦後最大の試練の時を迎え、新たな危機の時代に突入した」と国際情勢をとらえています。

また「グローバルなパワーバランスが大きく変化し、国家間の競争が顕在化し、特に米中の国家間競争が今後一層激しさを増す可能性がある」として「このようなグローバルな安全保障環境と課題は、わが国が位置するインド太平洋地域で特に際立っており、将来、さらに深刻さを増す可能性がある。わが国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面している。ロシアによるウクライナ侵略と同様の深刻な事態が、将来、インド太平洋地域、とりわけ東アジアにおいて発生する可能性は排除されない」と述べています。

中国はこれまでにない最大の戦略的挑戦

米国が2022年10月に発表した国家安全保障戦略や国家防衛戦略において、中国を「対応を絶えず迫ってくる挑戦」、ロシアを「差し迫った脅威」、北朝鮮を「持続的脅威」と位置づけています。中国が米国にとって最も重大な挑戦・戦略的競争相手であり、中国の課題に最優先で取り組む考えとしていることを紹介し「中国の対外的な姿勢や軍事動向などは、わが国と国際社会の深刻な懸念事項であるとともに、これまでにない最大の戦略的挑戦。わが国の総合的な国力と同盟国・同志国などとの協力・連携により対応すべきもの」としています。

北朝鮮については「北朝鮮の軍事動向は、わが国の安全保障にとって従前よりも一層重大かつ差し迫った脅威」「国際社会全体にとって深刻な課題」としており、ロシアについても「わが国を含むインド太平洋地域におけるロシアの軍事的動向は、中国との戦略的な連携と相まって安全保障上の強い懸念」と評しています。

自衛隊70周年　隊員の声を巻頭で特集

令和6年は、自衛隊が発足70年を迎えるとともに、令和6年版防衛白書は初版から数えて刊行50回目の節目となることから、自衛隊の70年の歩みを振り返る特集を巻頭に設けています。この中でこれまでの70年を「自衛隊発足と漸進的な防衛力整備の時代」「基盤的防衛力構想の時代、国際貢献の時代」「防衛力の役割が拡大、新たな脅威や多様な事態への対応の時代」「平和安全法制、新領域・南西地域の防衛体制強化の時代」「戦後最も厳しく複雑な安全保障環境と防衛力の抜本的強化の時代」と整理しています。

また、巻頭では「私はこうして日本を守る」との国内外で活躍する陸・海・空自衛隊員の声を紹介し「防衛力の中核は自衛隊員」として人的基盤強化の施策も説明して、厳しい募集環境を踏まえた編集となっています。

表紙は「刀鍛冶」

今年の白書の表紙は「刀鍛冶」です。白書では「防衛省・自衛隊は発足以来、「刀を抜かないために」必死で刀を鍛えてきました。すなわち、抑止力となる刀を鍛え上げ、わが国に対する武力侵攻を未然に防いできました。自衛隊発足70周年の節目にあたり、国家安全保障戦略などを踏まえ、わが国の防衛力、抑止力が順調に強化されている様子と、今後もたゆまぬ努力を続ける決意を表現しています」と述べています。なお、防衛白書は1970年に初めて刊行され、76年以降毎年刊行されています。

令和6年版白書は2023年4月から24年3月までの1年間のわが国を取り巻く安全保障環境や防衛省・自衛隊の取り組みを記述し、一部の重要な事象については24年4月以降のものも記述しています。

令和6年版　日本の防衛
防衛白書
防衛省
刀鍛冶をイメージした防衛白書の表紙（令和6年版防衛白書より）

地域を超えた同志国との連携の重要性を改めて確認

岸田文雄総理大臣は、7月10日から14日の間、米国とドイツを訪問。ワシントンで開かれたNATO首脳会合に出席するとともに、ドイツで日独首脳会談を行いました。

NATO首脳会合

NATO首脳会合のパートナーセッションでは、ロシアによるウクライナ侵略、インド太平洋の情勢など、国際的な安全保障情勢について、さらにはNATOとインド太平洋のパートナー、すなわちIP4（日本、豪州、ニュージーランド、韓国）との協力についても議論を行いました。なお、岸田総理の出席は、一昨年、昨年に続き3回目です。

この中で岸田総理は、欧州・大西洋とインド太平洋の安全保障環境がますます不可分になっているとの認識を示すとともに、最近の露朝軍事協力の進展に懸念を表明。また、欧州各国がインド太平洋に対して関心を強めていることを歓迎する旨を発言しました。

11日（現地時間）、会合を終えた岸田総理は記者会見を行い「地域を超えた同志国の連携の重要性が改めて確認され、日NATOの協力関係を一層強化していくことで一致しました。さらに、IP4とNATOとの間でも旗艦事業（※）について合意し、持続的な協力の確立についても確認できたことは成果として挙げられます」と述べました。

UKRAINE COMPA
Securing Ukraine's Fu
「ウクライナ・コンパクト」発出式典（官邸Web）

日独首脳会談

7月12日（現地時間）、岸田総理はドイツ連邦共和国のベルリンを訪問し、フランク＝ヴァルター・シュタインマイヤー大統領を表敬。その後、儀じょう隊による栄誉礼に続き、オラフ・ショルツ首相と首脳会談および共同記者会見を行いました。

会談では、岸田総理から、ドイツがインド太平洋への関与を強化している中で、両国間の安全保障・防衛協力が進展していることを指摘しました。

両首脳は、今夏にドイツ空軍機およびフリゲート艦等の訪日、日本の海上自衛隊の練習艦隊によるハンブルクへの寄港が予定される中、日・独物品役務相互提供協定が本日12日に発効を迎えたことを歓迎し、同協定が両国部隊間の協力をさらに促進することへの期待を共有しました。

また両首脳は、両国の外務・防衛閣僚による「2＋2」の枠組みも活用しながら、安全保障・防衛協力の連携を更に強化するため、次回会合を早期に開催するべく調整していくことを確認しました。

※IP4とNATOの旗艦事業とは、①ウクライナ支援②サイバー防衛③偽情報対策④テクノロジーの4分野で、具体的協力を進める計画のことです。

儀じょう隊による栄誉礼（官邸Web）

人的基盤の抜本的強化に関する検討委員会

防衛省は7月8日、鬼木誠防衛副大臣を委員長とする「人的基盤の抜本的強化に関する検討委員会」を設置し、その初会合を開催しました。

本検討委員会は、募集対象人口の減少や高い有効求人倍率など、募集を取り巻く環境が極めて厳しい中にあっても、国家安全保障戦略等に掲げられた能力の構築を確実に実現し、わが国の防衛に万全を期すため「防衛力抜本的強化実現推進本部会議」（議長・防衛大臣）の下に設置されたものです。

検討委員会では、防衛力の抜本的強化に不可欠な人的基盤の強化策として、以下の3点を検討するとしています。

①処遇面を含む職業としての魅力化
②AI等を活用した省人化・無人化による部隊の高度化
③OBや民間などの部外力の活用

なお、検討にあたっては、現行の防衛力整備計画（令和5～9年度）の期間中に実施する具体的改革事業を検討し、その先を見据えた検討も併せて行うとしており、8月下旬には報告を公表するとしています。

委員は、副委員長の事務次官以下、大臣官房長、防衛政策局長、整備計画局長、人事教育局長、地方協力局長、統合幕僚長、陸上幕僚長、海上幕僚長、航空幕僚長、情報本部長、防衛装備庁長官等となっています。

委員長の鬼木誠防衛副大臣（防衛省Web）

秋田・新潟・香川の地本に防衛大臣から第1級賞状が授与

6月17日、自衛隊地方協力本部を管理する陸上幕僚監部は、令和6年度全国地本長会議を実施しました。

会議には全国の地本長が出席し、今後の方針について議論が行われました。

森下泰臣陸上幕僚長は「この厳しい募集環境において、各地方協力本部が少しでも人材を確保しようと頑張っていることに感謝する。厳しいことを述べているのは十分理解した上で、自分たちが必ず募集目標を達成するという強い使命感・責任感、それらを皆で感じ、それらを背負っているという誇りを持って職務にまい進してもらいたい」と述べました。

またこの日、木原稔防衛大臣から令和5年度の地方協力本部の成果に基づき、秋田地方協力本部（本部長・上村宗顕1等空佐）、新潟地方協力本部（本部長・村岡史朗1等陸佐）、香川地方協力本部（本部長・上田俊博1等陸佐）に第1級賞状が授与されました。この授与式には多くの関係者が立ち会い、その努力と成果が称賛されました。

なお、令和5年度の自衛官の募集採用数は、採用計画数に対し51％との結果を受け、今後の募集活動には一層の工夫と努力が求められます。

（関連記事3面）

木原稔防衛大臣から第1級賞状（防衛省Web）

航空自衛隊 初の日独西共同訓練

航空自衛隊は7月19日と20日の両日、空自千歳基地および同周辺空域においてドイツ空軍（以下「独空軍」）およびスペイン航空宇宙軍（以下「西空軍」）との共同訓練を初めて実施しました。この訓練は、航空自衛隊の戦術技量の向上および相互理解の促進を図るとともに「自由で開かれたインド太平洋」の実現のための防衛協力のさらなる深化を目的としています。参加部隊は、航空自衛隊の第2航空団（千歳）のF－15戦闘機4機、独空軍のユーロファイター戦闘機8機、A400M輸送機3機、A330MRTT空中給油機4機、A321輸送機1機で、独空軍の人員は約180人です。西空軍からはユーロファイター戦闘機4機、A400M輸送機2機で、人員は約150人が参加しました。

今回の共同訓練では、戦闘機による空対空戦闘訓練や、空中給油訓練、さらには各国の戦術や戦術的連携の共有が行われました。これにより、各国の防衛力の向上だけでなく、相互の信頼関係の強化が図られました。航空自衛隊は「今回の訓練を通じて、独空軍および西空軍との連携を深め、今後の防衛協力の一層の強化につなげていきたい」とコメントしています。

初の日独西共同訓練（千歳基地Web）

家族会長等奮戦記 (87)

十年目を迎えて 秋田県自衛隊家族会会長としての決意

秋田県自衛隊家族会
会長　北林 康司

秋田県自衛隊家族会会長を拝命してから、父兄会の時を含めて、今年で十年目を迎えました。突然の拝命でしたから何も分からずオタオタしていましたが、その状況は今も続いています。

仕事の中身については、未だ理解不足、勉強不足ですが、幸いにも家族会、事務局長、秋田地方協力本部、秋田駐屯地の皆さまにご指導ご助力いただいております。

家族会にとって長年の課題であった全県一本での入隊激励会を、昨年、今年と実施し、関係各位に喜んでいただけました。

富樫博之秋田県防衛協会会長（衆議院議員）、佐竹敬久秋田県知事、そして今年は秋田県市長会会長（穂積志秋田市長）をメインに、多くの市町村長、学校長各位にもご出席いただき、大変盛り上がりました。

特に、秋田地方協力本部の多くの職員の皆さまの全面的なご協力があったからこそで、心から感謝を申し上げます。

入隊激励会にお渡しする小冊子には、先達の例にならい「今春、高校、専門学校、大学などを卒業されて自衛隊に入隊・入校される皆さまと、そのご家族に、秋田県自衛隊家族会を代表して心からお祝いを申し上げます。よくぞ決断していただきました。感謝と敬意を表します。

新たに自衛官になられる皆さまにおかれましては、自衛隊組織の一員として訓練に励んでいただくことが第一義ですが、同時にひとりの社会人として大きく成長されますことを期待しております」と記し、続いて（公社）自衛隊家族会の意義を強調しました。

そして、故安倍晋三元総理大臣が「自衛隊を憲法違反と言わせないために、憲法にはっきりと明記すること、自分の国は自分で守ると国民の意思を表明しなければならない」とよく言われていたことなども織り込み、激励会のみならず入隊式、教育課程修了式、二十歳の集い、その他の会合でもことあるごとに引用しています。

なぜなら、自衛官の身分を憲法に明記し、全国民が感謝と敬意を持って接する社会にならなければと強く思っているからです。

地政学的に見ても、安倍元総理が言われたように台湾有事は日本有事、日米同盟有事に関わってきますから、一日も早く自衛隊を憲法に明記して自衛隊員の身分を確かなものにし、加えて関係法律等の整備を急ぎ、自分の国は自分で守ると国民の意思を強力に表明する、このことが防衛力の強化になると私は信じているからです。

県自衛隊家族会会長としての仕事からは少しばかり逸脱しているかもしれませんが、このことも含めて頑張ってまいります。

これからも、（公社）自衛隊家族会本部、秋田地方協力本部、陸自秋田駐屯地、空自秋田救難隊、空自加茂分屯基地、そして自衛隊関係諸団体の皆さまのご指導ご協力をよろしくお願いします。

ここにしかない成長。
平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集
【自衛官募集ホームページ】
http://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/

60th
SINCE 1964
HOTEL GRAND HILL ICHIGAYA
防衛省共済組合 直営施設 ホテルグランドヒル市ヶ谷
多くの方に支えられ、
ホテルグランドヒル市ヶ谷は
2024年3月に
60周年を迎えました。
組合員の皆様へ
感謝の思いを込めて
特別なプランを
ご用意いたしました。
挙式日限定プラン
豪華婚礼料理でゲストも喜ぶ素敵な結婚式を実現！
挙式日限定でお得に結婚式を挙げよう！
組合員限定特典
◎衣裳定額制プラン（新郎2点・新婦2点）270,000円 ⇨ 50%OFF
◎婚礼料理 24,200円⇨18,700円（税込） & 新郎新婦分をプレゼント
◎フリードリンク 50%OFF　◎サービス料対象項目 10%OFF
ブライダルフェア 随時開催中! ご予約はこちらから
〔適用条件〕2025年1月2月3月に30名様以上での挙式・披露宴を行う方　詳しくはブライダルサロンまでお問合せください
ブライダルサロン直通 TEL 03-3268-0115 〔受付時間〕平日 10:00～18:00 土日祝 9:00～19:00 〔定休日〕火曜日　東京都新宿区市谷本村町4-1　https://www.ghi.gr.jp　E-mail：salon@ghi.gr.jp